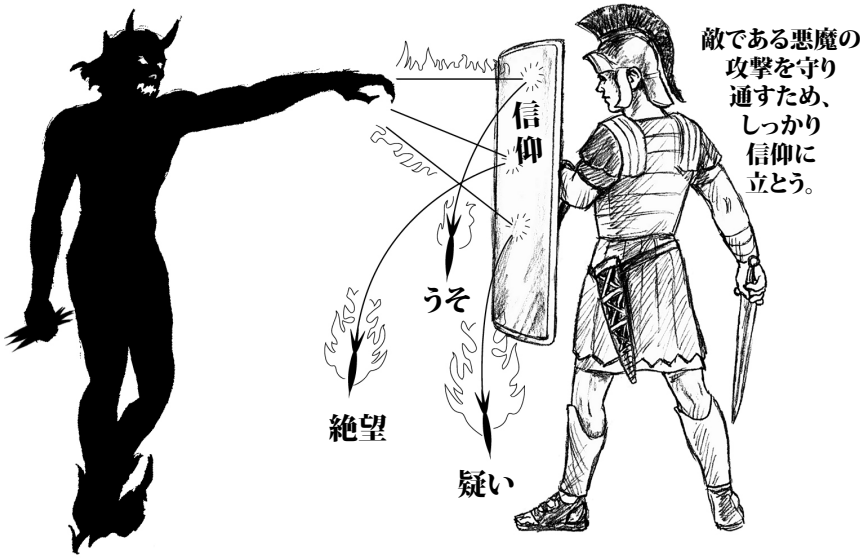
信仰に立脚せよ

悪魔サタンは、今後キリストを信じる信仰をなくすために、巧みに攻撃し始めるでしょう(第1ペテロ5:8、エペソ人6:16、マタイ伝13:3-23)。

サタンの攻撃目標のいくつかをあげてみましょう。

1. 人の心に疑いの芽を植え付けることにより、主にある喜びや永遠の命の希望をゆるがし、最終的に絶望感へと導く。
2. み言葉を曲解させたり、惑わさせることにより、真理の知識に成長させないようにする。
3. キリストの信仰を他の人々に伝えないようにする。それでは次にサタンのこのような攻撃から守るいくつかの方法にふれてみましょう。



信仰の盾:エペソ人6:10-17

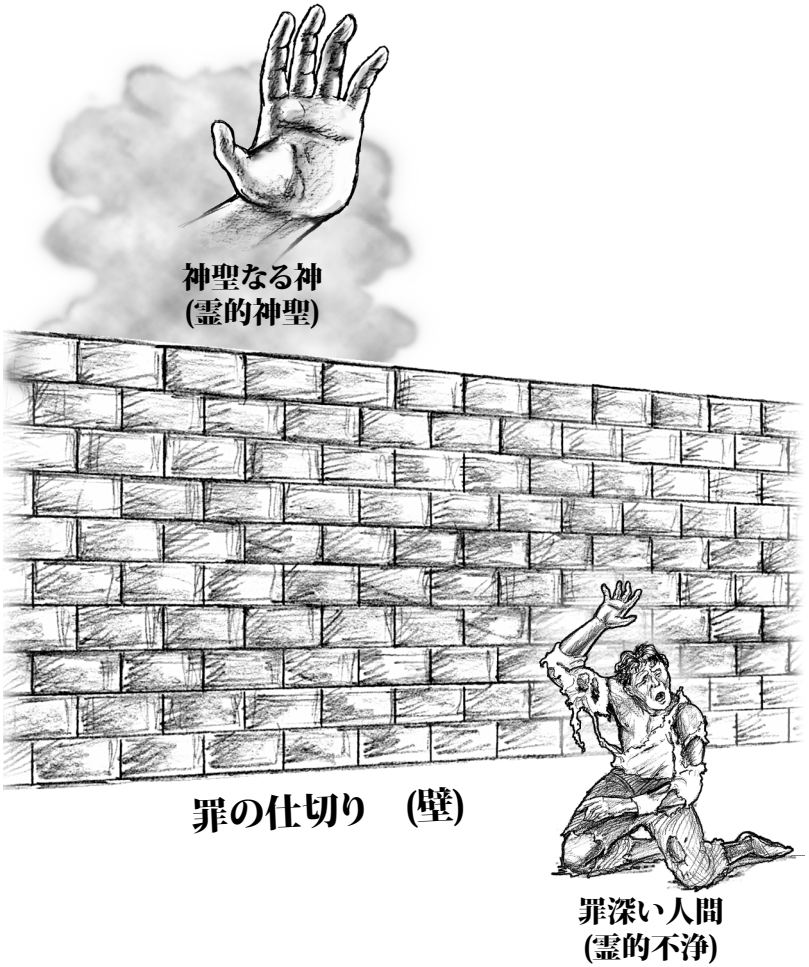
1. 福音は信仰の基石といわれるがゆえ、サタンは、直ちに福音の真理を惑わすあらゆる手段を使って攻撃を開始するでしょう。この攻撃を守るのには、福音の真理にしっかり根ざさなければなりません。まず手始めに、この小冊子を一日一回、一か月読んでみてください。たとえ暗記してしまったとしても、途中の10日や15日ぐらいでやめたりしないで下さい。サタンのよく使うわなで、時間がないからとか他にしなければならない事があるからと言ったりして、気をくじかないようにして下さい。このようなサタンの使い古した手にのらないようにして下さい(マタイ伝13:1-9、19-23、8:21-22;ルカ伝10:38-42、12:16-31、14:16-20;エペソ人5:16)。

神との断絶

罪の結果であることは明らかです。

> 「あなたがたの不義が、あなたがたとあなたがたの神との仕切りとなり」 (イザヤ書59章2節)

罪が原因で、人と神との間に仕切りとなった。



神は神聖で終りのないお方です。つまり神は永遠に神聖です。それゆえ、どんな小さな罪でも神を傷つけ続けるのです。聖書はどんな小さな罪でも、私たちを神から永遠に引き離すと教えています。神はどのような罪をも放置することができません。